

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目 (該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分 (申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無 (該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃこばやしばれえじむしょ		
	有限会社小林バレエ事務所		
代表者職・氏名	代表取締役・小林英夫		
制作団体所在地	〒 151-0053		
	東京都渋谷区代々木5-13-2		
電話番号	03-3987-3648	FAX番号	03-3987-3649
ふりがな 公演団体名	こばやしのりこばれえ・シアター		
	小林紀子バレエ・シアター		
代表者職・氏名	代表・小林 功		
公演団体所在地	〒 171-0031		
	東京都豊島区目白2-39-1 TRAD目白B2F		
制作団体 設立年月	1973年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小林英夫 取締役 小林紀子 小林健太 制作 小林健太 児玉玲子 真野琴絵 経理 田村陽子 監査 武田摂男 (公認会計士・税理士)	①団体構成員 団員28人, 準団員11人, 他職員等6人 ②加入の条件 学生を除き、朝10:00からのレッスンに毎日 (日曜を除く) 通えて、かつ、16:00までのリハーサルに来られる人で、高度なバレエのレベルを有する人。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	田村陽子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	田村陽子

制作団体沿革	1973年設立(東京目白)。1974年3月第1回公演A.ロドリゲス振付「オンディース」(主演:小林紀子)上演以来、2016年11月までに110回の公演を重ねる。1976年法人設立。2007年「コンチェルト」他の公演評が、英国紙ファイナンシャルタイムズにて絶賛された。2008年「ザ・レイクス・プログレス」他の成果に対し平成20年度文化庁芸術祭大賞受賞。2012年舞踊批評家協会賞受賞。これまでに、篠原聖一、板橋綾子、鈴木 稔、下村由理恵、小林十市、柳瀬真澄、島添亮子、小野絢子など、国内外で活躍する優秀なバレエダンサー、アーティストを数多く輩出。 ◆団化助成公演 1977年第6回公演「Variation for 9」他 ◆団化芸術祭主催公演 1981年第17回公演「悪魔が夜来る」 ◆芸術文化振興基金助成事業 1995年第58回公演「シンデレラ」、2002年第73回公演「二羽の鳩」「ソリテイル」 ◆団化庁舞台芸術振興事業 2002年第72回公演「デレク・ディーン版「ジゼル」 ◆団化庁芸術団体重点支援事業 2003年第75回公演「レ・ランデヴー」他、2003年第76回公演「バレエの情景」他、2003年第77回公演「くるみ割り人形」、2004年第78回公演「ソワレ・ミュージカル」他、2004年第79回公演「ジゼル」他 ◆団化庁芸術創造活動重点支援事業 2005年第81回公演「The Invitation」他、2005年第82回公演「二羽の鳩」他、2006年第84回公演「コンチェルト」他、2007年第87回公演「ザ・レイクス・プログレス」他、2008年第90回公演コボー版「ラ・シルフィード」他 文化庁芸術創造活動特別推進事業 2009年第94回公演マクミラン版「眠れる森の美女」全幕他、トップレベルの舞台芸術創造事業 (現舞台芸術創造活動活性化事業)2010年第100回記念公演マクミラン振付「マノン」、2012年「アナスタシア」など多数。			
学校等における公演実績	2009年より文化庁本物の舞台芸術体験事業(現文化芸術による子供育成総合事業)を全国の小学校、中学校において実施。これまでに東北、北陸、関東、甲信、東海、近畿、中国地方、九州など各地方にて、のべ90の市区町村で本事業を行う。 2019年にオープンした豊島区立芸術文化劇場(東京建物Brillia Hall)にて区立幼稚園・小中学生を対象とした『ダイジェスト版くるみ割り人形』(解説つき)を上演。バレエ団の本拠地である豊島区内の児童・生徒に幅広くバレエに親しみを感じてもらうための活動を行っている。 また1988年から2007年まで、(財)日本青少年文化センターによる企画、栃木県教育委員会、県内教育委員会主催のもと約200校、のべ約60,000人をこえる生徒のために、バレエ、日本舞踊、現代舞踊とのコラボレーションによる『舞踊への招待』公演を毎年実施。			
特別支援学校における公演実績	2017年6月文化芸術による子供の育成事業として横須賀市立ろう学校にて公演およびワークショップを実施。「自分ひとりだけでなく友達みんなと一緒に挑戦したいという勇気のようなものがわいた」という変化を感じていただきました。結果、幼稚園児から高校生まで、すべての同校児童・生徒が公演、またはワークショップにてバレエを実際に体験。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
PW:				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	～ ようこそ！バレエの世界へ！～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目①『Movement Caprice』(ムーヴメント・カプリース) 振付・演出：小林紀子 音楽：ルイ・ゴッドシャルク(米国) 演目②『アタック to バレエ』“バレエダンサーに挑戦”★児童生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 音楽：スコット・ジョプリン(米国)他 演目③『コート・ダンス・バレード』“バレエ作品を体験”★児童生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 音楽：アドルフ・アダン(仏国) 演目④メイン演目『ソリテイル』 振付：ケネス・マクミラン(英国) 音楽：マルコム・アーノルド(英国) 衣裳デザイン：キム・ベアスフォード(英国) 初演：1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団(英国) 公演時間(約90分 休憩10分含む)			
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる 取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<u>※別添あり。</u> バレエにはセリフがありません。どのように物語や気持ちを伝えるのでしょうか。 【こだわりの演目順】に並んだプログラム構成。プロのダンサーの磨きあげられた美しく迫力ある動きに始まり、楽しい共演プログラムを経て、心の内面を描いたストーリーバレエまで4つの作品を通してバレエの魅力を余すことなくご紹介します！ ▶ 演目①『Movement Caprice(ムーヴメント・カプリース)』— 初めて観るバレエの動き！ ▶ 演目②『アタック to バレエ』★生徒共演作品 — ダンサーの日々のトレーニング～みんなもバレエに挑戦！ ▶ 演目③『コート・ダンス・バレード』★生徒共演作品 — 役柄を表す衣裳とは？セリフがなくても何を話しているか分かる！ ▶ 演目④『ソリテイル』— 周りの人たちとのかかわり、自分という存在について…			
演目選択理由	<u>※別添あり。</u> ▶ 世界中の国々で・・・男の人、女の人、大人にも子供にも、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。 “バレエ”は発想力を育て、児童生徒ひとりひとり多様な感性や視点で観ていただける総合舞台芸術です。 ▶ 芸術に触れる喜び！と磨き上げられたバレエダンサーの躍動『ムーヴメント・カプリース』 ▶ どの席もS席！臨場感たっぷりの客席設計で楽しみながらダンサーとも共演『アタック to バレエ』『コート・ダンス・バレード』 ▶ 発見の連続！たくさん発見することが、学ぶ楽しさや発想力につながります！メインプログラム『ソリテイル』			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	▶ 生徒さんは◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・バレード」の2作品に共演します。 バレエダンサーと直接ふれあい、バレエダンサーのように準備をし、ワークショップで練習したバレエを、実際に共演児童・生徒さんひとりひとりが本格的な照明ライトのなかで、プロのダンサーや友達と一緒に表現するということを通して、普段の授業ではなかなか経験することのできない非日常を体験します。 ▶ 客席と舞台との一体感が特徴の円形劇場では、鑑賞児童・生徒も公演プログラムの重要な要素です 1作品約20分と短い間隔で次々と演目が変わるプログラムは児童・生徒が楽しく見ることができるよう工夫されています。ひとりひとりが独自の視点で発見したり、感動して思わず拍手をしたり、休憩時間に友達と意見交換して共感したり、これらのすべてがプログラムへの参加そのものであり、大事な体験だと考えております。 ※事前のワークショップ時にも、くわしく内容についてご説明、練習等いたします。 (円滑な事業実施のため、ご不安な点があれば、ご相談ください)			
出演者	【解説】：小林紀子 【出演ダンサー】：島添亮子、富川直樹、高橋怜子、真野琴絵、荒井成也、五十嵐耕司、小山 憲、上月佑馬、佐々木淳史、澤田展生、廣瀬陽、望月一真、廣田有紀、澁 可奈子、宮澤芽美、松居聖子、松山美月、濱口千歩、渡邊 慧、島 沙織里、武田麗華、岡本千里、飯田穂香 【ピアノ演奏】：青木萌絵 <u>※ダンサーランク別添有り</u>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 25 名 スタッフ： 26 名 合 計： 51 名		機材等 運搬方法 積載量： 4 t 車 長： 10 m 台 数： 2 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時	13時30分～15時	10分	15時～17時	17時半
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		約130名程度			
	本公演		約400名程度			
ワークショップ 実施形態及び内容	▶公演当日は生徒さんに◆「アタックtoバレエ」◆「コート・ダンス・パレード」の2作品に出演していただきます。ワークショップ(WS)では上記演目についての指導&練習を中心に、鑑賞ポイントもわかりやすく解説。練習は男女共通メニュー、男子用、女子用のメニューと時間を区切って行い【みんなで一緒に！】の気持ちを高めます。 ▶一緒に身体を動かしながら進めるWS・・・指導側の話を一方的に聞くスタイルでなく、“一緒に身体を動かしながら”のスタイルで行います。学校のカリキュラムに合わせ柔軟に実施いたしますのでご要望をご相談ください。 ▶WS映像を公演時に放映！・・・WSは基本的に2コマ使用ですが調整可能です。また生徒さん達が真剣に取り組んでいるWSの様子をスタッフがビデオカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験記録としてダイジェスト版を放映し、WSに参加できなかった学年の児童生徒にも様子をご覧頂き【共感】を高めます。					
ワークショップ 実施形態の意図	▶公演当日に「再会する」雰囲気づくり 公演で共演する生徒さんたちのほとんどは、バレエ未経験者ですので、生徒さんたちが当日困らないように、演目について指導者と一緒に身体を動かしながら、教職員の方も含めてコミュニケーションをとることができます。また公演に出演しない生徒さんにも、ワークショップ(WS)では基本メニューと一緒にやっていただくので、公演当日に“再会する”という雰囲気を作ることができます。 ▶この事業の大きな特徴でもあるWSは、公演を実施する団体側もとても役立っています。公演当日に使用する体育館を確認できるだけでなく、ダンサー用の楽屋や、スタッフの導線等についても事前に確認させていただいております。					
特別支援学校での 実施における工夫点	▶ろう学校でのワークショップ(WS)では、スクリーンを持ち込み、大画面でワークショップで練習するバレエのメニューを文字でわかりやすくフォロー。ダンサー、学校の教職員の方、児童・生徒が円になり、ダンサーも手話を使って児童・生徒とコミュニケーション取りながら楽しくバレエを体験します。個人情報保護等のためWS時の練習風景「撮影なし」をご希望の場合は「撮影なし」でも大丈夫です。その旨お申し出下さい。その場合は「体育館に舞台ができるまで！」(舞台設営ダイジェスト)等を当日撮影・編集しご覧いただけるようにいたします。 ▶公演前にホワイトボードを使って共演部分を子供たちに丁寧に説明。また音楽の曲調変化を「色」を用いて表す独自の指導法により、ほぼすべての児童・生徒がダンサーたちと共演することができました。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	小林紀子バレエ・シアター	】
演目概要	世界中の国々で、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだずっと愛され続けている“バレエ”。 4つの作品を通してその魅力を余すところなくご紹介いたします！ ▶演目①「Movement Caprice(ムーヴメント・カプリース)」ー 初めて観るバレエの動き！ みどころ:鼓動のようなリズムの音楽が響き、少しずつ明かりが入ってダンサーのシルエットが浮かび上がります。一気に明かりがつくと、バレエダンサーたちが目の前に！パリエティエに富んだ曲想に合わせて、ソロや群舞、美しくダイナミックな動きやリフト、軽快な回転など、目まぐるしく展開し、初めてバレエを目にする生徒さんへ新鮮な驚きと感動を与えます。 最初の演目「Movement Caprice」は、クラシックバレエの醍醐味のひとつである多様なテクニックがちりばめられた作品です。 ▶演目②「アタック to バレエ」★生徒共演作品 ー ダンサーのトレーニングの様子～みんなもバレエに挑戦！ みどころ:身体を使って音楽やドラマを表現することを職業とするバレエダンサー。かれらの毎日のレッスンの様子を、わかりやすく解説付きで披露します。バーと呼ばれる横木に手を乗せて行う動き、バーを離れてジャンプそして回転まで、どのようにしてダンサーがトレーニングを行っているかご覧いただけます。 そして「体験コーナー」では生徒さんにも、舞台上で照明を浴びながらピアノの演奏に乗って、バレエに挑戦していただきます。ワークショップで事前に一緒に練習したバレエの基本ステップを、テレビCMなどでも知られているチャイコフスキーの音楽で楽しく踊っていただきます。 生徒さんが心配の無いよう、バレエダンサーが丁寧にサポートするので安心です。 演目②「アタック to バレエ」の様子→ 			
	▶演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品 ー 役柄を表す衣裳とは？セリフがなくても何を話しているか分かる！ あらすじ:時は400年前、葡萄畑が広がる村で、村人たちがぶどう狩りに出かけるようです。村人たちは柔らかな生地洋服を着て、軽やかに通り過ぎていきます。そこへ、貴族の一行が通りかかります。貴族はいかにも権威を示すような、女性は10～15キロある洋服、男性は20～30キロもある重い織物で作られた洋服を着て、一歩一歩ゆっくりと優雅に歩いています。村人たちは貴族に深く頭を下げ、短い踊りで歓迎します。 村人たちが葡萄を囲んで腰を下ろした途端、時間が止まってしまったようです！ そこへいらずらな妖精がスキップをしながら現れます。妖精たちは時間が止まっている間に、村人のかごから葡萄、男性の貴族の帽子、女性の貴族の手袋などを持って行ってしまったようです。さあどうなのでしょう。 みどころ:セリフがないバレエでは、「マイム」と呼ばれる動きで言葉を表すことがあります。「あなたのお洋服、とっても素敵ですね！」という意味のマイムや、「喉が渇きました。何か飲むものはありますか？」という意味のマイムなどが出てきます。とても自然な動きなので、初めて見る人でもどんな意味だか分かりやすいですよ。 「コート・ダンス・パレード」では、妖精役を学校の生徒さんに演技していただきます。生徒さんには妖精の衣裳を着て、パリエシニオン(おだんご)を結って白い花輪の頭飾りを付け、シンプルな舞台メイクを体験していただきます。バレエダンサーが生徒さんとお話ししながらヘアセットとメイクをいたします。みんなメイクが終わったお友達のお顔を見て「かわいい！」と大好評です！生徒さんに踊っていただくステップは、ワークショップでしっかりと練習しますので心配いりません。			
	 貴族のイメージ↑  演目③「コート・ダンス・パレード」↑  演目④「ソリテイル」→			
	▶演目④「ソリテイル」ー 周りの人たちとのかかわり、自分という存在について・・・ あらすじ:中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。少女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達は少女に手を差し出し、少女は手を取ります。友達は、楽しそうに少女に駆け寄って彼女を驚かせたり、少女の気持ちに寄り添い包み込みます。少女や友達がどんなお話をしているのか、少女がどんなことを考えているのか、想像しながら見てみましょう。きっと、少女やそのお友達の話声が聞こえてきますよ・・・ みどころ:少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関りの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いを、穏やかでユーモラスに、かつ切なく描いているバレエです。少女の気持ちが揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。セリフを使わないからこそ、心の奥に響くものがあります。ひとりひとりの児童生徒が、それぞれの視点で観て感じてほしいバレエ作品です。 この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に上演許可を得ています。			
	<『ソリテイル』振付:ケネス・マクミラン Kenneth MacMillan> (1929ー1992) マクミランは、スコットランド生まれ。1946年、新設されたサドラーズ・ウェルズ・シアター・バレエ(のちの英国ロイヤル・バレエ団)にダンサーとして入団。いくつかの小品を作った後、振付家としての将来性が認められ『ダンス・コンセルタンデス』(1955)を振付。かのアーノルド・ハスケルをして“マクミランは疑う余地もなく、天才的な振付の才能を持ち、また類まれなる種類の振付家である。ストラヴィンスキーの音楽を理想的に解釈し、まさに音楽を視覚化させたのである。彼の振付の才能は動きの中に暗に示されていて、それは真の振付であった”と言わしめた。1983年、マクミランの英国バレエ界への多大な貢献に対してKnight(ナイト)の称号が与えられ、心臓発作によってこの世を去った翌年の1993年には、彼の生涯にわたる業績が称えられ、オリヴィエ特別賞が贈られた。			

リンク先	No.2	【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター 】
演目選択理由	▶バレエにはセリフや歌詞がありません。ではどのように物語や気持ちを伝えるの？ ▶“バレエ”は「発想力を育て、様々な感性や視点で、自ら発見することの喜びを学ぶことに最適」な総合舞台芸術です。 バレエには様々な要素があります。特徴ある美しい動きや衣裳はその代表ですが、他にも音楽や照明、舞台装置など様々な要素から成り立つため、『総合芸術』と呼ばれています。 【こだわりの演目順】・・・バレエの醍醐味の一つでもある様々なテクニックが驚きと感動を与える『Movement Caprice』から始まり、生徒さんにもバレエのステップに挑戦していただく『アタック to バレエ』、まるでタイムスリップしたかのようなヨーロッパの貴族の時代を表現する『コート・ダンス・パレード』、最後はストーリーバレエである『ソリテイル』というプログラム構成で、順を追ってバレエの世界を楽しんでもらえるよう構成されています。1つの作品の長さが20分くらいですので、最後まで集中して集中することができます。 ▶芸術に触れる喜び！ 私たち小林紀子バレエ・シアターが得意とするのは、英国の振付家による『心理』や『ある人物の生き様』などを表したストーリーバレエです。バレエは『美しさ』や『ファンタジー』にとどまらず、様々な感情・心理を表現する、とても雄弁な舞台芸術です。 メインプログラムの『ソリテイル』は、自分を取り巻く周囲の世界にうまく対応することができない少女が、友達との楽しい場面を想像したり、悩んだり、憧れたりする姿を、穏やかでユーモラスに描いています。誰も身近に感じる事ができる人の心の感情をテーマに描いた傑作バレエ『ソリテイル』をご覧ください、是非バレエで語られる物語を楽しんでいただきたいと思います。 『ソリテイル』の解釈は人それぞれです。私たちは、作品をどのように見てほしいという事はありません。見終わったときに、何だかわからない優しい気持ちになっているかもしれません。見たことがないものを見て、目がキラキラしているかもしれません。涙があふれてくるかもしれません。いつもは話しかけられない友達に明日話してみようと思うかもしれません。 是非その気持ちを生徒さんたちが心にとどめて、芸術に触れることによって感じた気持ちや喜びを知っていただけたら私たちにとってこの上ない喜びです。 ▶どこの席もS席！臨場感たっぷりの客席設計 一步体育館に足を踏み入れると、すっかり劇場に姿を変えています！ 舞台を囲むように客席が配置された円形劇場をイメージした舞台では、どこの席もS席！と感じていただけるように工夫されていますので、どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。それぞれの角度からダンサーの色々な表情が良く見えます。これは、小さなお子様でも舞台に注目し、バレエの世界に浸ることができるための工夫です。 開演が近づくと、外からの明かりがほとんど遮断され、本当の劇場のように暗くなり、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。 ▶発見の連続！たくさん発見することが、学ぶ楽しさや発想力につながります！ ダンサーの動きはもちろん、ピアノの演奏や音楽、美しくデザインされた衣裳やジュエリー、刻々と変化する照明など、そのすべての要素が素晴らしい舞台に欠かせないものなのです。 バレエを体育館で見ることだけでも、とても新鮮なことですが、本公演ではぜひ舞台のあらゆるところに目を移してみてください。随所に新たな発見がたくさんあること間違いなしです。 ▶磨きあげられたバレエダンサーの躍動 バレエの大きな特徴のひとつに、セリフなどを用いずに、ダンサーの動きのみで作品の世界観を表現するというのがあげられると思います。舞台で躍動するバレエダンサーの身体を通して、音楽のイメージ、作品のテーマ、男女の感情、またストーリーが語られていくのです。だからこそバレエダンサーは、たえず自分の技術や表現力を磨き、全身を使って多くのことが表現できるよう訓練をしています。	

No. 2 別紙メンバー表 出演者一覧

【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター】

役職	氏名
プリンシパルダンサーA	島添亮子
プリンシパルダンサーB	高橋怜子
プリンシパルダンサーB	富川直樹
プリンシパルダンサーB	真野琴絵
ソリストA	上月佑馬
ソリストA	望月一真
ソリストA	小山 憲
ソリストA	佐々木淳史
ソリストA	荒井成也
ソリストA	澤田展生
ソリストA	五十嵐耕司
ソリストA	廣瀬 陽
ソリストB	廣田有紀
ソリストB	澁 可奈子
コール・ド・バレエA	宮澤芽実
コール・ド・バレエA	松居聖子
コール・ド・バレエA	濱口千歩
コール・ド・バレエA	松山美月
コール・ド・バレエA	武田麗華
コール・ド・バレエA	渡邊 慧
コール・ド・バレエA	島沙緒梨
コール・ド・バレエB	岡本千里
コール・ド・バレエB	飯田穂香
解説者	小林紀子
ピアニスト	青木萌絵

小林紀子バレエ・シアター
文化芸術による子供育成総合事業



~ようこそ！バレエの世界へ！~

★主演：『ノリテイル』▶▶▶

物語の中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。彼女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達とは、ときに楽しそうに少女に駆け寄り、彼女を驚かせたり、ときに彼女の気持ちに寄り添い、包み込みます。少女や友達がどんなお話しをしているのか、少女がどんなことを考えているのか、想像しながら見てみましょう。さっと、少女やそのお友達の話し声が聞こえてきますよ・・・

浮かんでは消える“少女の想い”が心に響く名作

少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関わりの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いを、**穏やか**で**ユーモラス**に、かつ**切なく**描いているバレエです。少女の気持ちの揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に上演許可を得ています。セリフを使わない**芸術**だからこそ、心の奥に届く**ものがある**のです。とりわけ思春期の若者に是非、それぞれの視点で観て感じてもらいたい人間の本质を描いたドラマティックバレエです。

ムーザ・カプリース



ノリテイル



様々なエピソードの中に、少女の声が聞こえる



Solitaire photographs by Kenichi Tomohiro



★生徒共演作品

コート・ダンス・パレード



★生徒共演作品

アタック to バレエ

NORIKO KOBAYASHI BALLET THEATRE

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A8	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター				制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所			

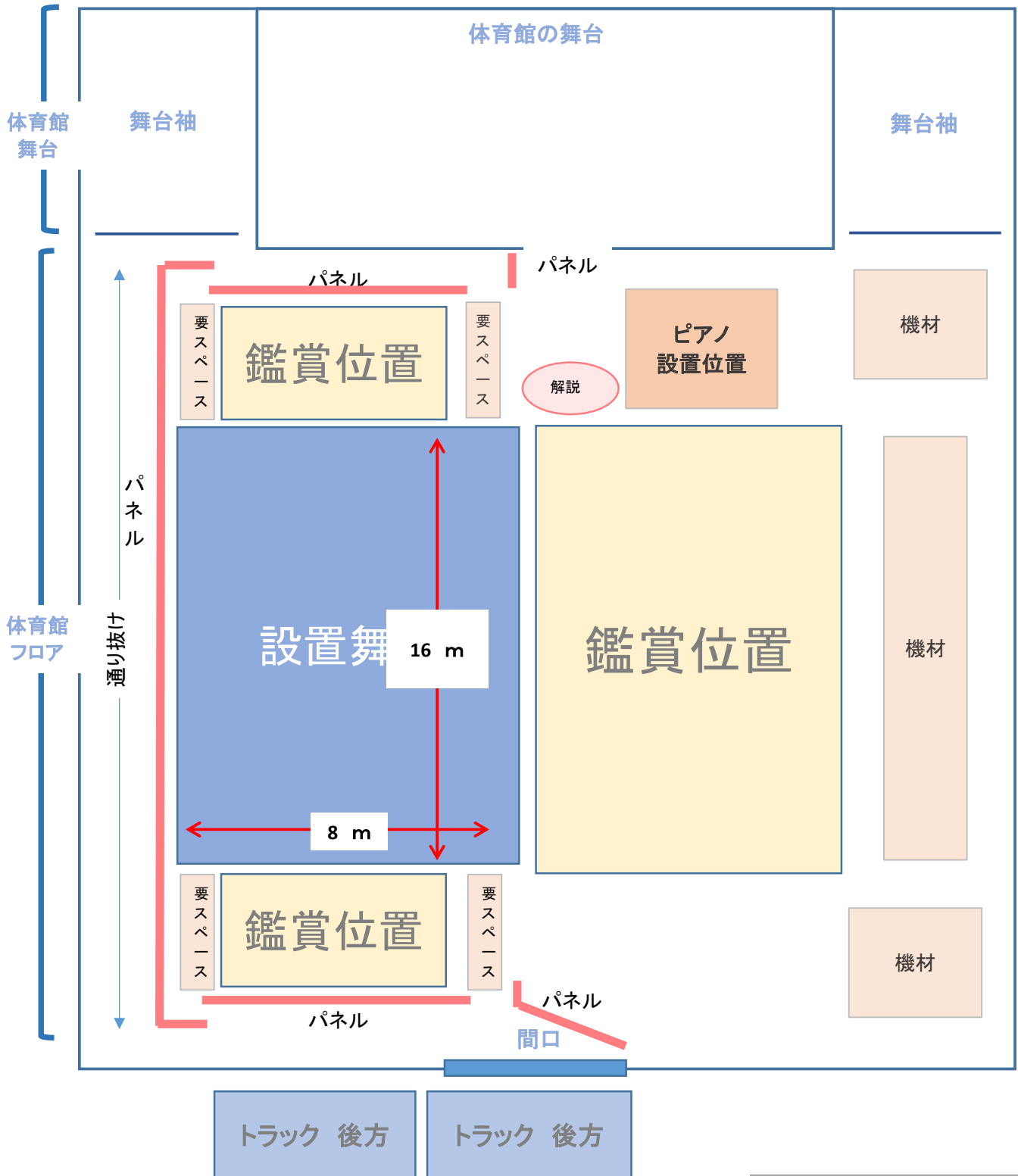
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	3室	条件		うち2部屋は着替えをするため、カーテンがあること、1部屋は食事が可能な部屋であること。			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			大型バス	2台	4tトラック	2台	不可	
				電源車	1台				
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車長10m/車高3.8m) × 2台 電源車1台				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段の無い経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			大道具、照明機材等、重量物の搬入のため					
	設置階の制限 *			2階以上不可				不可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m		高さ	1.8m		可
WSIについて	参加可能人数		130名程度					可	
	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			可	
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			約400名程度(体育館の広さにより上限なし)				可	
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	16m	奥行	8m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *	要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明等演出効果を高めるため		可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				可
		ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			電源車を持ち込むため必要ありません	※主幹電源の必要容量				可
	その他特記事項								応相談

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時